```
precision mediump float;
uniform float time;
uniform vec2 mouse;
uniform vec2 resolution;

void main(void){
    vec2 p = (gl_FragCoord.xy * 2.0 - resolution) / min(resolution.x, resolution.y);
    vec2 color = (vec2(1.0) + p.xy) * 0.5;
    gl_FragColor = vec4(color, 0.0, 1.0);
}
```

定理 0.1: なにか定理

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

定理番号を参照したいときは**定理 0.1** とする。自動で Theorem か Proposition か Definition か判定する コマンドを作るかは検討中。

命題 0.2: なにか命題

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

番号を参照したいときは命題 0.2 とする。

系 0.3: なにか系

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

番号を参照したいときは系 0.3 とする。

定義 0.4: なにか定義

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

番号を参照したいときは定義 0.4 とする。

補題 0.5: なにか補題

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

番号を参照したいときは補題 0.5 とする。

例 0.6: なにか例示

あいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおか きくけこあいうえおかきくけこ

番号を参照したいときは例 0.6 とする。



図1 fig スニペット

表 1 table スニペット

系列 1	系列 2	系列 3
要素要素	要素要素要素	要素要素









図 2 figarray スニペット

図3 cap

図 4 cap

図5 cap

系列 1	系列 2	系列 3
要素	要素	要素
要素 要素	要素 要素	要素 要素

表2 回り込み

えおかきくけこあいうえおかきくけこ



図 6 caption

けこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこあいうえおかきくけこ